

九大学研都市メールマガジンvol.165 ( 令和6年12月号 )

opack\_mailmagazine

九大学研都市メールマガジンvol.165 ( 令和6年12月号 )

opack\_mailmagazine

本メルマガ配信を行っております< emagazine@opack.jp >は、配信専用アドレスです。

付きのイベントは、OPACKホームページ< <https://www.opack.jp/> >内の「九大学研都市トピックス」に各イベントのサムネイルを掲載しておりますので、そちらからもご覧いただけます。

○\*\*INDEX\*\*○

- 九大学研都市に関する団体・機関からお知らせ -

【1】2024年12月4日・11日・18日 ( 毎週水曜日 ) 開催  
九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)  
「Brown Bag Seminar Series 第168回 ~ 第170回 」

【2】2024年12月20日 ( 金 ) 開催  
九州大学エネルギー研究教育機構  
「未来を切り拓く科学の力」~ 吉野彰が語る、挑戦と好奇心の大切さ ~

【3】2025年1月11日 ( 土 ) 開催  
未来共創リーダー育成プログラム主催シンポジウムのご案内  
「課題解決型教育の大学院への展開」  
~ 深い専門性と多角的な視点をいかに養うか ~

【4】2025年1月11日 ( 土 ) 開催  
地理空間情報科学シンポジウム  
「高解像度地理情報が切り拓く科学研究と未来社会」

【5】2025年度九州大学マス・フォア・インダストリ研究所  
共同利用研究計画 公募開始のお知らせ

【6】福岡県商工部商工政策課 技術人材育成室  
「技術系企業PR動画作成支援補助金 ( 3次募集 )」の公募開始!

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)  
~ Brown Bag Seminar Series ~

- 1 第168回 『バングラデシュにおけるポータブルヘルスクリニックサービスのための道具や器のデザイン試作』
- 第169回 『骨格筋の分化・再生の制御因子としての雌性ホルモンエストロゲン』
- 第170回 『薬剤耐性菌の動向と対策』

~ Brown Bag Seminar Series (12月分) の御案内 ~

概要

九州大学アジア・オセアニア研究教育機構(Q-AOS)では「Brown Bag Seminar Series」を2021年4月から毎週水曜日のランチタイムに開催しております。本学のアジア・オセアニア地域やSDGsに関連する最新の研究活動を多くの方に知っていただき、異分野研究ネットワークや交流やきっかけの場を提供できればと思います。どなたでも気軽に御参加いただける内容となっております。途中参加、途中退室もOKです。皆様の御参加をお待ちしております。

< 各回共通 >

形式 オンライン (Zoom Webinar)

言語 日本語・英語 (同時通訳あり。スライドやポスターも日英2言語対応)

定員 500名

対象者 どなたでも参加可能

参加費 無料

詳細 右記URLをご覧ください <https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/>

問い合わせ 九州大学IQ支援室

TEL : 092-802-2605 / E-mail : iq-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp

【第168回】

タイトル 『バングラデシュにおけるポータブルヘルスクリニックサービスのための道具や容器のデザイン試作』

( \*キーワード / 遠隔予防医療、母子の健康、ヘルスケアデザイン、プロダクトデザイン )

日時 12月4日 (水) 12時10分 ~ 12時50分

登壇者 秋田 直繁 准教授 (芸術工学研究院 人間生活デザイン部門)

参加申込 下記URLより、お申し込み下さい。

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_uKc0c-W6RmSnJazQVj1B-A](https://zoom.us/webinar/register/WN_uKc0c-W6RmSnJazQVj1B-A)

【第169回】

タイトル 『骨格筋の分化・再生の制御因子としての雌性ホルモンエストロゲン』

( キーワード / エストロゲン、筋分化、筋再生、サルコペニア )

日時 12月11日 (水) 12時10分 ~ 12時50分

登壇者 保坂 善真 教授 (農学研究院 資源生物科学部門)

参加申込 下記URLより、お申し込み下さい。

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_On4k\\_ASyQQiVi82CbhV27Q](https://zoom.us/webinar/register/WN_On4k_ASyQQiVi82CbhV27Q)

【第170回】

タイトル 『情薬剤耐性菌の動向と対策』

( \*キーワード / 薬剤耐性菌、抗生物質、感染症、サーベイランス、ワンヘルス )

日時 12月18日 (水) 12時10分 ~ 12時50分

登壇者 下野 信行 教授 (九州大学病院)

参加申込 下記URLより、お申し込み下さい。

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_6douSokQRNW-VTcHqgl\\_kA](https://zoom.us/webinar/register/WN_6douSokQRNW-VTcHqgl_kA)

・ Brown Bag Seminar Seriesチラシ : [https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33079\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33079_file.pdf)

2 九州大学エネルギー研究教育機構

「未来を切り拓く科学の力」 ~ 吉野彰が語る、挑戦と好奇心の大切さ ~

概要

吉野 彰 (九州大学栄誉教授) 特別講演会

吉野 彰 先生が、研究者としての道のりや、ノーベル賞受賞 (リチウムイオン電池の開発)

に至るまでの挑戦、受賞後の変化について語ります。研究の世界において「好奇心」と「忍

耐力」がどのように未来を切り拓く力となるのか、学生に向けた熱いエールをお届けします。  
この講演会は一般の方々もご参加いただけますので、ウェブサイトよりお申込み下さい。

日時 2024年12月20日（金）14：30～15：40（13:30開場）

場所 九州大学伊都キャンパス 椎木講堂コンサートホール  
九州大学伊都キャンパスへのアクセス <https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>  
キャンパスマップ 6 7 番の建物 [https://www.kyushu-u.ac.jp/f/57240/ITO\\_1\\_Jp.pdf](https://www.kyushu-u.ac.jp/f/57240/ITO_1_Jp.pdf)

#### テーマ

登壇者：吉野 彰 氏

1948年1月30日生まれ。大阪府吹田市出身。

旭化成株式会社名誉フェローで、リチウムイオン電池の発明者の一人として、2019年  
ノーベル化学賞、文化勲章を受章。2015年九州大学客員教授を経て2018年に九州大学  
グリーンテクノロジー研究教育センターの訪問教授、2019年に九州大学名誉教授に就任。

対象者 学生、一般の方など、どなたでもご参加いただけます

定員 800名（先着順）

参加費 無料

申込期限 2024年12月13日（金）

申込方法 こちらからお申し込みください。  
<https://e-ve.event-form.jp/event/90174/lecture>

問い合わせ 特別講演会事務局（株）セレスポ内 9：30-17：00（土日祝除く）  
TEL：092-663-5558 E-mail：q-kouenkai@cerespo.co.jp

・九州大学特別講演会チラシ：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33080\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33080_file.pdf)

未来共創リーダー育成プログラム主催シンポジウムのご案内

- 3 「課題解決型教育の大学院への展開」  
～深い専門性と多角的な視点をいかに養うか～

#### 概要

ここ数年、「課題解決」や「共創」を理念に掲げる学部が増加が著しい。しかし、その一方で、人類が直面している様々な地球規模の課題はますます複雑化、深刻化している。その解決に取り組める人材を育成するためには、大学院での学びを通じた専門性（ディシプリン）強化とともに、大学院においても「課題解決型教育」を展開し、課題解決の実践力を高めることが急務である。

今回のシンポジウムでは、教育において、先駆的・特徴的な取り組みを展開している大学の事例をご紹介いただき、課題解決のために不可欠な「総合知」の基盤をなす深い専門性と多角的な視点を大学院でいかに養うかを議論する。

日時 2025年1月11日（土）12：00～17：05

場所 九州大学伊都キャンパス 日本ジョナサン・KS・チョイ文化館  
（開催形式：ハイブリッド）

#### 内容

12:00- 受付開始

12:15-13:00 ポスターセッション

13:00-13:05 総長挨拶（ビデオレター）

九州大学総長 石橋 達朗

13:15-13:10 開会挨拶

九州大学理事・副学長/プロボスト 荒殿 誠

13:10-13:45 基調講演

「東北大学のマイクロクレデンシャル導入の事例とリカレント/リスキリングへの展開」

東北大学理事・副学長（教育・学生支援担当）滝澤 博胤

13:45-14:20 基調講演

「「共創型人材」の育成：静岡大学グローバル共創科学部の試み」

静岡大学グローバル共創科学部長 池田 恵子

14:20-14:30 休憩

14:30-15:05 基調講演

「立命館大学の全学型産学連携PBL科目「コーオプ演習」の実践・成果・展開」

立命館大学共通教育推進機構教授 教養教育副センター長（キャリア教育担当）中川 洋子

15:05-15:25 プログラム紹介

九州大学大学院未来共創リーダー育成プログラム責任者

九州大学大学院地球社会統合科学府長 大野 正夫

15:25-15:45 休憩（ポスターセッション）

15:45-16:55 パネルディスカッション

コーディネーター

九州大学大学院未来共創リーダー育成プログラムリーダー 荒谷 邦雄

パネラー

一般社団法人コード・フォー・ジャパン 滋賀県日野町政策参与 東 健二郎

九州大学大学院人間環境学府教授 総合研究博物館館長 堀 賀貴

東北大学理事・副学長 滝澤 博胤

静岡大学グローバル共創科学部長 池田 恵子

立命館大学共通教育推進機構教授 中川 洋子

16:55-17:00 閉会挨拶

九州大学理事・副学長（教育担当）園田 佳巨

17:05 閉会

-----  
対象者 教育関係者・学生・一般

-----  
定員 100名

-----  
参加費 不要

-----  
申込方法 事前申し込み

<参加申込フォーム>

<https://docs.google.com/forms/d/1RKy778swessiX0izyJzCimRjwWf1OWwkXq-noDMplxs/edit>

-----  
申込期限 2025年1月10日（金）13:00

-----  
問い合わせ 未来共創リーダー育成プログラム推進室

[suishinshitsu@scs.kyushu-u.ac.jp](mailto:suishinshitsu@scs.kyushu-u.ac.jp)

担当：丸田 藤本

・未来共創リーダー育成プログラム主催シンポジウムチラシ：

[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33081\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33081_file.pdf)

#### 4 地理空間情報科学シンポジウム

「高解像度地理情報が切り拓く科学研究と未来社会」

##### 概要

地理空間情報技術は近年目まぐるしい発展を遂げており、その将来性が有望視されています。このシンポジウムでは、フォトグラメトリやLiDAR技術を科学研究に活用した事例や、NFTやメタバースなどへの社会実装事例をご紹介します。また、デジタルネイティブ世代であるZ世代と一緒に、地理空間情報が切り拓く未来についてパネルディスカッションを行います。

-----  
日時 2025年1月11日（土）13:00～17:30（開場12:30）  
-----

場所 リファレンス駅東ビル貸会議室5F V-1会議室（福岡市博多区博多駅東1丁目16-14）  
オンライン併用

-----  
内容

<第1部>

『デジタル考古学におけるNFTの活用』

市川 泰雅（株式会社ワールドスキャンプロジェクト CTO）

『海底洞窟の三次元モデル構築と生物多様性研究への応用』

藤田 喜久（沖縄県立芸術大学 全学教育センター 教授）

『デジタル地形データによる変動地形研究の革新と進展』

後藤 秀昭（広島大学大学院 人間社会科学研究科 教授）

『サンゴ礁のデジタル空間づくり』

菅 浩伸（九州大学大学院 比較社会文化研究院附属 浅海底フロンティア研究センター センター長）

『環境保全とNFT：市民参加型GISプラットフォームの構築』

三納 正美（九州大学大学院 比較社会文化研究院 寄附講座「ワールドスキャン地理情報解析講座」准教授）

『地理空間情報技術の社会実装』

森田 圭吾（日本ミクニヤ株式会社 空間情報計測カンパニー）

佐々木 信和（パシフィックコンサルタンツ株式会社 北海道支社 国土基盤事業部 部長）

宮田 拓馬（株式会社東陽テクニカ 海洋計測部）

<第2部>

『デジタルネイティブ世代（Z世代）とのパネルディスカッション』

-----  
〔主催〕九州大学大学院 比較社会文化研究院 寄附講座 ワールドスキャン地理情報解析講座

〔共催〕九州大学大学院 比較社会文化研究院附属 浅海底フロンティア研究センター

〔後援〕福岡市教育委員会、糸島市

〔特別協賛〕株式会社ワールドスキャンプロジェクト

〔協賛〕日本ミクニヤ株式会社、パシフィックコンサルタンツ株式会社、株式会社東陽テクニカ

-----  
CPD対象

本シンポジウムは、建設コンサルタンツCPD・土木学会CPD認定プログラムとして承認を受けています。CPD単位付与に関する注意事項は、詳細URLにアクセスしてご確認ください。

-----  
定員 会場100名、オンライン定員なし いずれも事前申込要

-----  
参加費 無料

-----  
申込方法 下記URLよりお申し込みください。

<https://forms.gle/n811fsZsU2GrxLbRA>

-----  
詳細 下記URLをご覧ください。

[https://isgs.kyushu-u.ac.jp/~worldscan\\_gia/20250111\\_symposium/](https://isgs.kyushu-u.ac.jp/~worldscan_gia/20250111_symposium/)

-----  
問い合わせ

九州大学大学院 比較社会文化研究院附属 浅海底フロンティア研究センター

E-mail: [seafloor@scs.kyushu-u.ac.jp](mailto:seafloor@scs.kyushu-u.ac.jp)

-----  
・地理空間情報科学シンポジウムチラシ：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33082\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33082_file.pdf)

5 2025年度九州大学マス・フォア・インダストリ研究所  
共同利用研究計画 公募開始のお知らせ

## 概要

本研究所は日本初の産業数学の研究所であり、多様な数学研究に基礎を置く、新しい産学連携の拠点として2011年4月に附置研究所として設立されました。2013年4月には文部科学大臣から共同利用・共同研究拠点「産業数学の先進的・基礎的共同研究拠点」に認定され、理念である「マス・フォア・インダストリ」の具現化を推進しているところです。その事業の一環として、本研究所は2025年度の共同利用研究を下記の通り公募します。多数応募いただきますようお願い申し上げます。詳細は下記及びwebページをご覧ください。 <https://joint.imi.kyushu-u.ac.jp/>

-----

## 詳細

### 1. 公募する研究種別

- (1) プロジェクト研究
- (2) 国際プロジェクト研究
- (3) 女性研究者活躍支援研究
- (4) 若手・学生研究
- (5) 一般研究

### 2. 公募する研究種目

- (1) 研究集会(I)
- (2) 研究集会(II)
- (3) 短期共同研究
- (4) 短期研究員

### 3. 応募方法

#### (1) 応募資格

大学・大学院・短期大学、大学共同利用機関、高等専門学校、国公立試験研究機関、独立行政法人および企業に所属する研究者、および大学院生

#### (2) 応募方法

本拠点のウェブページから電子申請システムを利用して共同利用研究計画提案書を作成し、応募してください。 <https://joint.imi.kyushu-u.ac.jp/>

#### (3) 応募締切日

2025年1月30日（木）

### 4. 選考方法と採否の連絡

学外有識者と学内教員（本研究所所員を含む）8名ずつで構成される共同利用・共同研究委員会において審査の上、採否を決定します。プロジェクト研究はプロジェクト代表者が審査し、共同利用・共同研究委員会で採否を決定します。国際プロジェクト研究は国際プロジェクト委員会で審査の上、採否を決定します。選考の際の評価によって、採択額を傾斜配分することがあります。委員の名簿は本拠点のウェブページをご覧ください。

-----

問い合わせ 九州大学マス・フォア・インダストリ研究所

共同利用・共同研究拠点事務室

〒819-0395 福岡市西区元岡744

Tel : 092-802-4408

E-mail: [imikyoten@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:imikyoten@jimu.kyushu-u.ac.jp)

HP : <https://joint.imi.kyushu-u.ac.jp>

-----

- ・ 共同利用研究計画 公募 チラシ : [https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33083\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33083_file.pdf)

## 6 福岡県商工部商工政策課 技術人材育成室

「技術系企業PR動画作成支援補助金（3次募集）」の公募開始！

## 概要

福岡県では、県内にある半導体、デジタル、自動車、ものづくり分野の技術系企業の人材を確保するため、企業の魅力や優れた技術、将来性を若者等にPRする動画の作成を支援しています！

令和7年1月31日まで公募を受け付けます！この機会に未来を担う若者へ向けて自社の魅力を発信してみませんか？

補助事業名  
技術系企業PR動画作成支援補助金

補助率、補助上限  
補助率 1 / 2 以内  
補助上限 10万円  
\* 同一の者が交付申請することができるのは一回限りです。

補助対象者  
福岡県に本社又は主たる事業所を有する技術系企業又は技術系企業の代表者。  
\* 技術系企業とは、福岡県が事務局を務める協議会等に加入している又は加入する企業のことです。  
福岡県が事務局を務める協議会等

- ・ 福岡県半導体・デジタル産業振興会議
- ・ 福岡県宇宙ビジネス研究会
- ・ 福岡県Ruby・コンテンツビジネス振興会議
- ・ 福岡県ブロックチェーン研究会
- ・ 福岡バイオコミュニティ推進会議
- ・ 北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進会議
- ・ 福岡県水素グリーン成長戦略会議
- ・ 福岡県ものづくり中小企業推進会議
- ・ 工業技術センタークラブ
- ・ 福岡ベンチャービジネス支援協議会
- ・ 福岡ベンチャークラブ
- ・ 福岡県産業デザイン協議会
- ・ グリーンアジア国際戦略総合特区地域協議会
- ・ 福岡県企業立地振興会
- ・ 福岡県航空機産業振興会議

補助対象事業  
自社PR動画の作成  
\* PR動画とは将来技術者として働くことを目指す若者等に対し、自社の魅力や優れた技術、将来性を発信する動画であり、長さは概ね5～10分程度、本数は問いません。

補助対象となる事業期間  
交付決定後～令和7年3月31日(月)  
\* 決定交付前に行った発注等に係る支払い、及び事業完了日までに支払いが完了しなかった経費は、補助対象外です。  
\* 最終日となる令和7年3月31日(月)までに補助事業を完了し、実施内容についての実績報告及び支出証拠書類を提出することが必要です。

申請期限 令和7年1月31日(金) 17時必着

申請方法  
所定の申請書(県のホームページからダウンロード)に必要事項を記入し、添付書類を添えて、商工部商工政策課技術人材育成室へ郵送又は持参ください。

(福岡県ホームページ)  
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/r5technology-prdoga.html>

(送付先)  
〒812 8577 福岡市博多区東公園7番7号  
福岡県庁商工部商工政策課 技術人材育成室 宛  
\* 提出書類に不備がある場合は審査できませんので、余裕を持ってご提出ください。

申請・問い合わせ 福岡県 商工部 商工政策課 技術人材育成室  
〒812 8577 福岡市博多区東公園7番7号  
TEL: 092 - 643 - 3415

MAIL : gijyutsujinzai@pref.fukuoka.lg.jp

-----  
その他詳細 福岡県ホームページ  
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/r5technology-prdoga.html>  
-----

・技術系企業PR動画作成支援補助金（3次募集）チラシ：[https://www.opack.jp/files/MagazineDetail\\_33084\\_file.pdf](https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_33084_file.pdf)

-----事務局からのお願い&お知らせ-----

九大学研都市メールマガジン会員募集中  
公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）では、メールマガジン会員を随時募集しております。ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報をメールマガジンにて毎月お届けしています。  
産学連携、研究施設、企業立地など、九大学研都市に関する情報に関心のある方に是非お知らせください。

詳細  
[http://www.opack.jp/files/TopicDetail\\_45\\_file.pdf](http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf)

新規のご登録はこちらから  
<https://www.opack.jp/users/add>

設定変更等  
本メールマガジンはメルマガ会員にご登録いただいた方や、OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信させていただいております。  
メルマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ、などは下記URLをご参照ください。

<https://www.opack.jp/users/delete>

または、下記へお問い合わせください。  
[info@opack.jp](mailto:info@opack.jp)

-----